

平成 26 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成 27 年 3 月

十日町市（新潟県）

○計画期間：平成 25 年 7 月～平成 30 年 3 月（4 年 9 月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成 26 年度終了時点（平成 27 年 3 月 31 日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成 25 年 6 月 28 日に十日町市中心市街地活性化基本計画の認定を受け、「新たなにぎわい」に満ちた「魅力あるまち」の創造を基本理念に掲げ、「雪国でも快適で安心して暮らし続けられるまち」、「歩いて楽しいまち」、「いきいきとまちづくり活動ができるまち」を基本方針に、①「暮らす人を増やす」、②「訪れる人を増やす」、③「活動する人を増やす」を目標とした活性化事業を進めている。

①～③の目標を達成するため、主に以下の事業を進めている。

①屋根雪対策としての克雪すまいづくり支援事業や冬季の道路交通確保のための、道路消雪施設整備事業。また、サービス付き高齢者向け住宅及びファミリー向け都市型住宅が「アップルとおかまち」として H27 年 9 月にオープンするなど、雪国でも安心して暮らせる環境づくりが着実に進んでいる。

②憩いの場の創出のために、老人デイサービス施設整備・子育て支援施設整備を進めており、H27 年 9 月にオープンする。また、楽しく歩く環境をつくるために（仮称）市民交流センター整備では、地域内外の交流の場として H27 年度に工事着手する。さらに、（仮称）産業・文化発信館整備事業が H27 年 6 月にオープンする。ソフト事業である中心市街地にぎわい力アップ事業では、市民が気軽に立ち寄れる場所を提供するなど、商店街と一体となった各種取組を進めることで、まちなかに新たなにぎわいが生まれつつある。

③市民活動の拠点をつくるため、（仮称）十日町市市民文化ホール・中央公民館整備、（仮称）市民活動センター・まちなか公民館整備は、H27 年度に工事着手する。また、中心市街地活性化基金を活用し、市民活動を支援することにより新たな活動の取組が始まってきている。

ハード事業は、H27 年度に事業完了・工事着手するものが多く直接的な事業効果は出ていないものの、ソフト事業を中心に、あらたな活動が生まれ、「新たなにぎわい」に満ちた「魅力あるまち」へ十日町市は力強い一歩を踏み出している。

2. 平成 26 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

随時、活性化協議会を開催してフォローアップ実施年度における取組や事業の進捗状況について、民間や行政などの各事業者からの報告・検討が行われたほか、実施年度以降に予定されている事業についても協議が行われている。

中心商店街では、長年の悲願であった大型空きビルが解体され、民間資本による再開発事業が順調に進んでおり、「人の賑わいが戻るのでは」、「完成が楽しみ」といった期待の声が聞こえる。

また、中心市街地整備推進機構の「NPO にぎわい」においては、新たに賑わいを創出することで活性化を図るための担い手となる団体・グループ活動を支援するために「まちなか元気応援

助成金」制度を創設し、これまでに 8 件 60 万円をソフト事業に対して助成したほか、地域住民を巻き込んだ「コミュニティガーデン整備」や高校生が主体となる「青春フェスタ」などのソフト事業を積極的に展開している。

このように官民が連携して事業に取り組むとともに、施設の完成後には地域住民も一体となったイベントが計画されるなど、中心市街地活性化に対する機運が高まっており、基本計画は概ね順調に進捗していると評価する。

Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
暮らす人を 増やす	人口の社会動態 (H25～H29 年)	(H19～H23 年度 の合計) ▲85 人	(H25～H29 年度 の合計) 社会動態をプラス	+2 人	—	①
訪れる人を 増やす	歩行者・自転車通行量 (平日)	5,841 人/日	6,400 人/日	4,668 人/日	—	①
活動する人 を増やす	文化、活動施設の利用 者数及び屋外活動者数 (年間)	(H19～H23 年の 平均) 126,682 人/年	(平成 29 年) 148,000 人/年	108,605 人/年	—	①

＜取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類＞

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①人口の社会動態（H25～H29 年）

H25 年から H26 年の人口の社会動態は+2 となっている。これは、克雪すまいづくり支援事業を活用し、平成 24 年度に事業完了した駅西区画整理地内に新築し区域外からの住み替えが促されたものと推測される。今後、サービス付き高齢者住宅、ファミリー向け都市型住宅の整備が完了し「アップルとおかまち」として H27 年 9 月にオープンすると、優良な住宅が供給され居住人口が増える。H27～H29 年の人口の社会動態の合計もプラスに推移するものと見込まれる。

②歩行者・自転車通行量（平日）

数値的には基準値を下回っている。対前年比で約 83%となっている。これは、H26 年度の調査時雨天だったことと中心市街地でのハード事業が本格化していないことも基準値を下回っている要因である。同一週の休日に天候が良かった同じ条件で通行量調査を行った結果では、対前年比約 90%と落ち込み幅は緩和されている。今後、(仮称) 市民交流センター、(仮称) 産業・文化発信館、老人デイサービス施設・子育て支援施設などがオープンすることで、施設利用者などによる人の流れが変わり歩行者・自転車通行量も増加するものと見込まれる。

③文化、活動施設の利用者数及び屋外活動者数（年間）

数値的には、基準値を下回っている。これは活動を行う中心施設である（仮称）十日町市市民文化ホール・中央公民館整備事業、（仮称）市民活動センター・まちなか公民館整備事業などの施設が整備中であることが大きな要因である。今後、施設整備が完了すると施設の利用者が増え目標が達成されるものと見込まれる。

3. 前回のフォローと見通しが変わった場合の理由

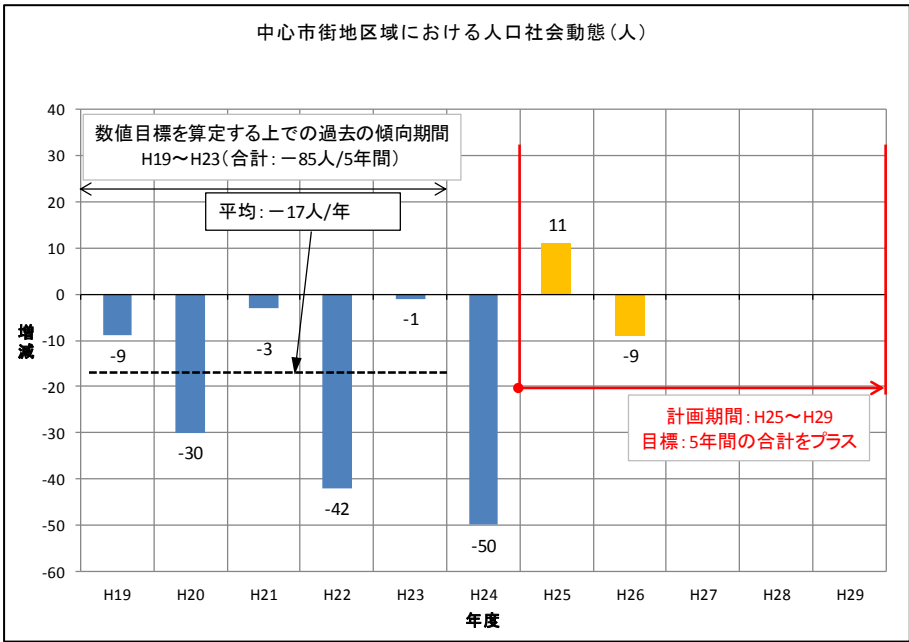
前回フォローアップは実施していない

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「人口の社会動態」（H25～H29 年度の合計）

※目標設定の考え方基本計画 P113～P116 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H23	▲85 人 (基準年値) H19～H23 合計
H25	11 累積：11
H26	▲9 累積：2
H27	—
H28	—
H29	H25～H29 合計プラス (目標値)

※調査方法：計画期間（平成 25～29 年度）の住民基本台帳に基づく

中心市街地の居住人口の社会動態の合計

※調査月：毎年 3 月 31 日

※調査主体：十日町市

※調査対象：計画区域（中心市街地の居住人口）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. サービス付き高齢者向け住宅整備事業

・ファミリー向け都市型住宅整備事業（株）ファイン・テン）

事業完了時期	平成 27 年度【実施中】
事業概要	構造：RC 造、地上 4 階、地下 1 階 サービス付き高齢者住宅：50 戸（2～4 階）延べ床面積 約 2,200 m ² ファミリー向け都市型住宅：12 戸（5 階） 延べ床面積 約 500 m ²
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 事業が完了すると、62 戸の住宅が供給されることにより、居住人口が増え、周辺地域のにぎわいの向上が期待される。 （進捗状況） 26 年 5 月に建築本体工事に着工、27 年 9 月オープンを目指している。

②. 克雪すまいづくり支援事業（十日町市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	屋根雪処理による落雪事後の防止や雪国でも快適に生活するために、屋根融雪装置を設置した住宅及び融雪構造にする住宅の建設・改造への支援を行う。 ・通常助成額 44 万円（全市） ・嵩上げ支援 66 万円（中心市街地地域）
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 人力による雪降ろしなど住宅の屋根雪処理に過大な負担と危険の軽減、冬期の居住環境の改善が図られ、雪国でも安心して快適な生活が送ることが出来る。 （進捗状況） H25 年 12 件、H26 年 10 件の中心市街地の克雪化が図られている。

③. 道路消雪施設整備事業（十日町市）

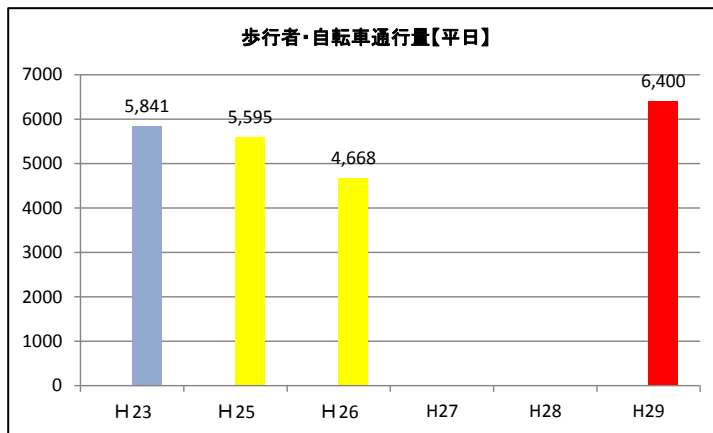
事業完了時期	平成 25 年度【済】
事業概要	消雪パイプの敷設 市道山本高山線 L＝340m
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 冬期間の機械除雪の堆雪により道路や歩道幅員が狭小になることから、消雪施設を整備することで、通年を通した自動車及び歩行者の安全で快適な通行を確保に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

計画地域内の「人口の社会動態」（H19～H23年度の合計）基準年値－85人に対し、H25年＋11人、H26年－9人であり累計＋2となっている。今後は、駅西區画整理事業完了に伴う居住人口の増加と、サービス付き高齢者住宅事業、ファミリー向け都市型住宅整備事業が完了するH27年度以降、新たに供給される住宅に居住する人が増加することが推測されるため、目標の達成は可能と見込んでいる。今後も、克雪すまい住まいづくり支援事業など戸建住宅等への支援を継続し、制度の周知を図り、まちなかへの転入を促進していく。

「歩行者・自転車通行量」（平日）※目標設定の考え方基本計画 P117～P125 参照

●調査結果の推移



年	(人/日)
H23	5,841 (基準年値)
H25	5,595
H26	4,668
H27	—
H28	—
H29	6,400 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査 毎年5月第4日曜日及び木曜日

※調査月：毎年5月

※調査主体：十日町市

※調査対象：中心市街地内6地点における歩行者及び自転車の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. (仮称) 市民交流センター整備事業（十日町市）

事業完了時期	平成27年度【実施中】
事業概要	施設のリニューアル RC造4階建、1～2階を改修、改修面積約900㎡ ・十日町市の情報発信、まちの文化歴史コーナー（1階） ・和室、茶室、会議室（2階）
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 来街者への中心市街地や地域内外の情報提供やまちの文化・歴史を感じられる場所とすることで、地域内外の交流が深まり、市街地を訪れる人が増える効果が期待できる。 （進捗状況） 27年6月に建築本体工事に着工、28年春オープンを目指している。

②. (仮称) 産業・文化発信館整備事業 (株フジタ)

事業完了時期	平成 26 年度【済】
事業概要	敷地面積：1,250 m ² 構造：木造 2 階建て 延べ床面積：1,200 m ² 1 階 レストラン、交流広場、雁木 2 階 イベントスペース
事業効果及び進捗状況	(事業効果) 十日町の伝統や歴史を発信する市民や来街者の交流できる施設として、来街者が中心市街地内を回遊するための拠点となり、周辺地域のにぎわいの向上が期待される。 (進捗状況) 26 年 5 月に建築本体工事に着工、27 年 3 月本体工事完了。 27 年 6 月オープンを目指している。

③. 老人デイサービス施設整備事業 (株ファイン・テン)

事業完了時期	平成 27 年度【実施中】
事業概要	構造：RC 造、地上 4 階、地下 1 階 老人デイサービス（1 階） 延べ床面積：349.40 m ²
事業効果及び進捗状況	(事業効果) サービス付き高齢者向け住宅と併設した老人デイサービス施設を整備することにより、中心市街地で高齢者が安心して生活できる住宅環境の提供を行う。 (進捗状況) 26 年 5 月に建築本体工事に着工、27 年 9 月オープンを目指している。

④. 子育て支援施設整備事業 (十日町市)

事業完了時期	平成 27 年度【実施中】
事業概要	構造：RC 造、地上 4 階、地下 1 階 延べ床面積：374.2 m ² 子育て支援センター（1 階）
事業効果及び進捗状況	(事業効果) 子育て支援施設を整備することによって、子育て世代が中心市街地へ訪れることが期待される。 (進捗状況) 26 年 5 月に建築本体工事に着工、27 年 10 月オープンを目指している。

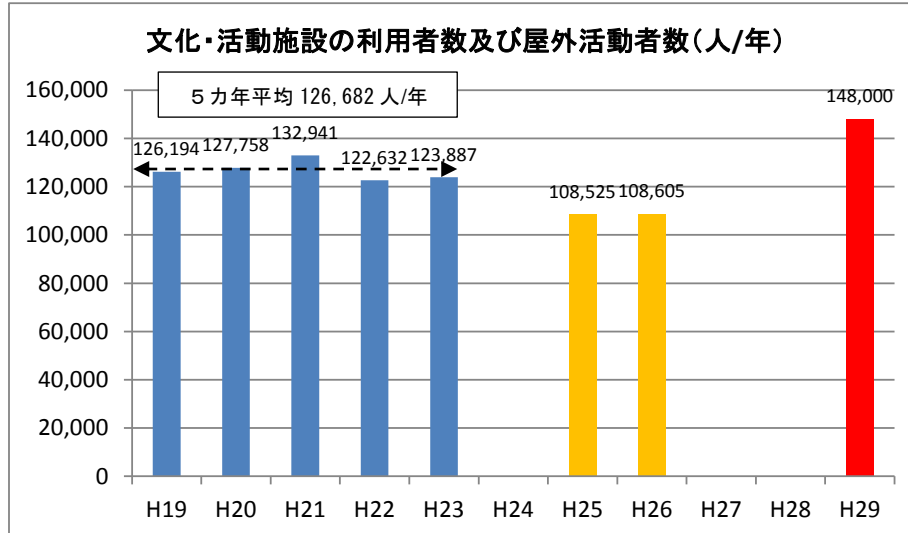
●目標達成の見通し及び今後の対策

「歩行者・自転車通行量」（平日）基準年値 5,841 人に対し、H25 年 5,595 人、H26 年 4,668 人となっている。H26 年は天候が悪い中の調査であったため、減少幅が大きかった。平成 27 年 6 月以降、建設中の施設がオープンしていくにつれ、歩行者・自転車通行量も増加していくものと推測されるため、目標の達成は可能と見込んでいる。今後は、施設間の連携による、来街者の回遊性の向上と滞在時間の延長を目指していく。

「文化、活動施設の利用者数及び屋外活動者数」（年間）

※目標設定の考え方基本計画 P126～P132 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H23	126,682 (基準年値) H19～H23 平均
H25	108,525
H26	108,605
H27	—
H28	—
H29	148,000 (目標値)

※調査方法：公民館等の施設利用者や計画区域内で行われるイベントなどの参加者集計

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：十日町市

※調査対象：計画区域（中心市街地の公民館利用者など）

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①.（仮称）十日町市市民文化ホール・中央公民館整備事業（十日町市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	敷地面積：約 13,900 m ² 市民文化ホール：客席 670 席程度、楽屋、練習室など 中央公民館：ぼかぼか広場、だんだんテラス、キッチンルーム、和室、多目的スペースなど
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 公益施設のまちなか回帰を促し、コンパクトなまちづくりを進めることによって、中心市街地に人が集まり、活動・交流の場が提供され、地域のにぎわいを創出する。 （進捗状況） 27 年 9 月に建築本体工事に着工し、29 年秋のオープンを目指している。

②. (仮称) 市民活動センター・まちなか公民館整備事業（十日町市）

事業完了時期	平成 28 年度【実施中】
事業概要	低利用ビルの再生し市民活動やサークル活動の場として提供 敷地面積：380 m² 構造：RC 造、地上 3 階 延べ床面積：827 m² ・事務室、ギャラリー、倉庫（1 階） ・ワーキングラウンジ、個人ワークプレイス、プロジェクトルーム ・多目的スペース、工作スペース、準備室（2～3 階）
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 市民の活動拠点施設と位置付けることにより、市民間の連携を深め、新たな取組や活動の活性化が図られる。 （進捗状況） 27 年 6 月に建築本体工事に着工し、28 年春オープンを目指している。

③. コミュニティガーデン整備事業（NP0 法人にぎわい、地域住民、十日町市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	中心市街地において、「花と緑」の一大プロジェクトを展開し、花と緑の作品設置によりまちなか回遊促進する
事業効果及び進捗状況	（事業効果） 住民参加による中心市街地活性化の機運を高め、花と緑の作品によりまちなか回遊が促進され、にぎわいが創出される。「花と緑」を通じた十日町市民全体の連帯感が醸成される。 （進捗状況） H25 年度～事業実施

④. 市民健康づくり推進事業（十日町市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	中心市街地内の約 5.3 kmにおよぶアーケードや歩道は、新潟県健康ウォーキングロードに登録されている。このウォーキングロードを活用し、定期的に市民が参加するウォーキングを行う。
事業効果及び進捗状況	（事業効果） まちなかまちじゅうノルディックウォーキングを中心市街地内で開催し 30 人の参加者があった。市民の健康増進を図りながら、中心市街地を回遊することによってにぎわいが創出される。 （進捗状況） H26 年度から事業実施

⑤. 中心市街地にぎわい力アップ事業（NP0 法人にぎわい）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	中心市街地内の情報をラジオや、フリーペーパーで定期的な発信 まちなか拠点施設「まちなかのす」の運営 まちなか不動産情報の発信
事業効果及び進捗状況	（事業効果） まちなか拠点施設「まちなかのす」への来場者数が、H25 年度は 5,995 人であったが、H26 年度は 10,145 人と増加した。事業の実施により着実にまちなかでのひとの動きが変わってきている。 （進捗状況） H25 年度からまちなかのにぎわい創出のため、まちなか拠点施設の運営や広報、まちなか不動産情報の提供などの事業を行っている。

⑥. 中心市街地活性化基金による市民活動支援事業（十日町市）

事業完了時期	平成 29 年度【実施中】
事業概要	基金：平成 27 年 3 月：16,000 千円 市民や民間事業の寄附による基金を活用し、まちなかでのにぎわい創出につながる活動をする団体に対し、助成金を交付している。
事業効果及び進捗状況	（事業効果） H25 年度は 12 件、H26 年度は 8 件の申請があり、新たな市民の活動が芽生えてきておりまちなかでの市民活動が活性化してきている。若者から中心市街地活性化の取組に関心を持ってもらうために、高校生が主体となったイベントを開催し、H25 年度は 350 人、H26 年度は延べ 800 人の来場者があった。 （進捗状況） H25 年度～事業実施

●目標達成の見通し及び今後の対策

「文化、活動施設の利用者及び屋外活動者数」（年間）基準年値 126,682 人に対し、H25 年 108,525 人、H26 年 108,605 人となっている。H29 年度に（仮称）十日町市市民文化ホール・中央公民館整備事業、H28 年度に（仮称）市民活動センター・まちなか公民館整備事業が完了しそれぞれの施設がオープンすると、施設利用者数が増加することから、目標の達成は可能と見込んでいる。

今後も、基本計画掲載事業の着実な進捗と順次完成をむかえる施設を活用したソフト事業を充実していく取り組みが必要である。